

産地交付金に係る麦生産性向上緊急支援について



産地交付金に新たな支援内容が創設されます

【目的】

需要量が供給量を上回っている麦について、生産性向上に資する技術対策の取組を支援します。

【支援内容】

以下のいずれかに取組んだ場合、支援対象となります。ただし、平成31年度は平成32年産（平成31年秋播き）麦に対する取組報告書を提出いただき、実施予定面積に応じて支払います。

・プラウ深耕（排水対策）

・堆肥施用（地力向上）

施用量：牛糞堆肥2t/10a以上または豚糞堆肥0.5t/10a以上

・鶏糞施用（肥料成分補給）

施用量：300kg/10a以上



【単価】

1,500円/10a

【注意点】

・実施期間は平成31年度から平成32年度までの2か年とします。

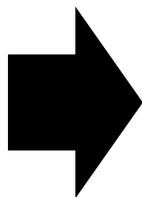
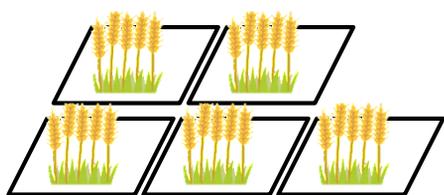
・平成31年度は赤かび病防除を行っていることも要件とします。

・対象者は、畑作物の直接支払交付金の数量払の対象者（等級麦の単収180kg/10a（パン・中華麺用品種は135kg/10a、種子用も含む）以上）に限る（**営農継続支払の対象者には交付しません**）。

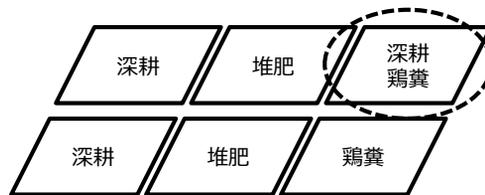
・各地域協議会が設定する麦支援メニューとの重複交付は可能です。

交付対象面積等の考え方

H31年産 = 5ha



H32年産（H31年播き） = 6ha



・平成31年産の作付面積（上記の例では5ha）が交付対象の上限となります。

・複数の技術に取組んだ場合、重複交付は行いません（上記の例では深耕+鶏糞）。

※産地交付金の対象にはなりませんが、様々な技術に取組み単収向上に努めて下さい。

水田フル活用と麦の増収で所得向上に取組みましょう！